

「安い働き手」技能実習生を企業に紹介 監査する団体

前川浩之、嶋田圭一郎 葵川俊 2018年8月23日05時08分

f シェア

124

ツイート

list

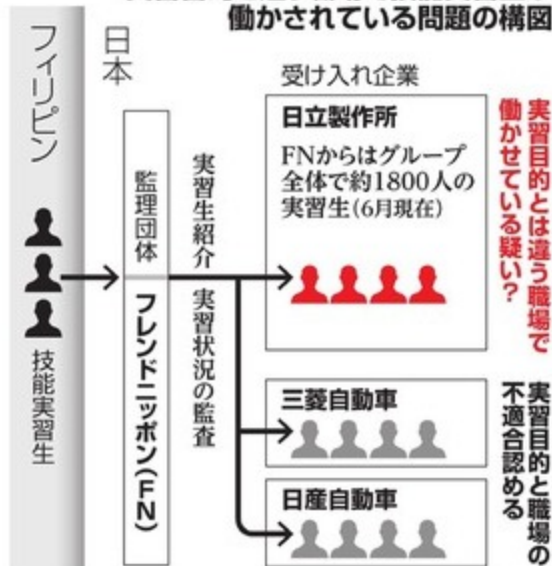
B!ブックマーク

164

メール

印刷

実習目的と違う職場で技能実習生が働かされている問題の構図



自動車大手で発覚した 外国人技能実習生の不正な働かせ方が、電機大手の日立製作所の現場にも広がっている疑いが明らかになった。技術者を夢見て来日した実習生からは、日立と監理団体に対する不満の声が上がる。国から実習の監査を任されている、この監理団体は、日立グループへの実績を元に実習生を「安い働き手」として他の企業に売り込んでいた。

日立も技能実習不正か 目的外の職場に配置の疑い →

日立製作所 笠戸事業所（山口県 下松市）で技能実習中の、あるフィリピン人男性の仕事は窓の取り付けだ。男性によると、実習生らが4人1組で重さ120キロ超の窓を運び、鉄道車両に手作業で取り付けの日々を繰り返しているという。男性は「電気機器組み立て」の実習目的で昨春来日したが、「これで技能が学べるのだろうか」と不安をもらす。

実習目的とは違う職場で技能実習生が働かされている問題の構図



広告は Google により終了しました